

## 子供が楽しく、保護者が満足し、先生が喜びをもって指導できる教室を目指して

### じゃがいぬくんのアニメ教材を配信

「じゃがいぬくんのキャラクター導入のきっかけは。ガウディアのコンセプト「子どもたちが楽しく、保護者が満足し、先生が喜びをもって指



株式会社ガウディアの小嶋隆社長

導できる教室』のブランディング戦略のメインキャラクターとして採用しました。日能研にはカエル・チャレンジャーズという自前のキャラクターがいますが、今回は、アニメや書籍にもなっている力のあるキャラクターを起用して、「幼児・小学校低学年へのア

ピール」と「ガウディアが変わった」ということを表現するシンボルとしました。

——そのアニメ教材も作成されているようですが、コンセプトやカリキュラムについてお聞かせください。

この10月から毎月、会員にじゃがいぬくんアニメを配信し、一単元終了毎の定着テストが終了するたびに実施する教

材(じゃがいぬくんプリント)を導入しています。これは、ガウディアが子どもたちに習得してほしいと考える「使える力」の具現化である表現力を補完するための「G」教材です。子供たちにとっては、一単元終了の頑張りに対しての「ご褒美」ともなり、学習の持続性やモチベーションを高める効果も狙っています。

### 教材のラインナップを整理し、FC加盟者に寄り添って運用

——では、プリント教材が大きく変わったのでしょうか。

日能研関東グループは小学生を対象としたプロの塾屋として、教材やコンテンツを作ってきたと自負しています。ガウディアは、2020年の教育改革を先取りした教材改訂を現在進行中で、来春から順次リリースしていきます。年少小



じゃがいぬくんプリントにあるQRコードを読み込むと3分ほどのアニメが始まる。これを視聴してから問題に取り組み仕掛けになっている。

6生までを対象に、基本教材、発展教材、表現ICT教材として、将来日能研で中学受験を考える子どもたちだけでなく、すべての子どもを対象とした自立型指導教室の指導により最適化した教材となります。これは、FC加盟者に寄り添ったものでもあり、このことによってもっと多くの幼児・小学生が集客できる教室になつていきます。

——2020年の学習指導要領では英語やプログラミングが導入されますが、ガウディアでの対応は。

AIやグローバル化が進化する社会で、英語やプログラミングの導入の必要性は十分に理解できますが、ガウディアは現時点では算数と国語しか実施していません。それは、私たちが子どもたちに習得してほしいと考える「使える力」の習得において、特に幼児・小学校の低学年で、この2教科の学びが最重要だと考えているからです。英語を話す際にも、人は母国語でものを考えます。英語はスキルであって、スキルを活かせる土台を作るためにも、低学年のうちでしっかりと算数・国語をやっておくことは重



今年10月からは、子供に大人気のじゃがいぬくんをオフィシャルキャラクターに採用し、ウェブサイトをはじめ、チラシやポスターなど宣伝広告に幅広く活用している。

要だと思えます。培った力をどうスキルにつなげるかという将来的見地では、外部環境の変化に伴い、検討はしていくつもりです。

——ガウディアの卒業生は都心部では70%が中学受験をされているようです。中学受験をされないお子さんにとってガウディアを学ぶポイントは。

ガウディアのミッションは、すべての子供たちに「使える力」の習得を目指すことです。「使える力」というのは、変化の激しいグローバル化が進化する社会で幸福な人生を生きるための力です。

もうこれまでの「いかに正確に速く処理できるか」といったジグソーパズル型の能力だけでは通用しない。これからは、例えば100ピースのブロックで「自分は電車が作れる」「自分は飛行機と車を作れる」といった答えが一つとは限らない問題に対応できるブロックパズル型の能力、さらには作りたいたい形に即したブロックそのものを創り出す力が求められるわけですから、そうい

う土壌を日本全体でつくっていく必要性はあると思います。多くの学習塾が、幼児・小学生のコースに私共ガウディアを採用しているのも、このビジョンに共感していただいているからだと思えます。

——ガウディアの教材は解き方にどんな工夫があるのですか。

ガウディアは、子どもたちが自分の力で問題を解いて、わかつて先に進む自学自習の教室です。そのためには、子どもたちに学習において、絶えず自信とやる気をもたせ続けることが必要です。ガウディアの教材は、子どもに「わかった」「できた」を絶えず与えるつくりになっています。そのため、いきな



思考力判断力表現力の育成を含む「使える力」を習得できるように工夫されたガウディアの教材。多くの私立小学校の授業でも使用されている。

り答えを出させるのではなく、わざと答えを導くような寄り道ができる教材にもなっており、達成感が味わえるように工夫されています。

——ガウディア設立から今年で10年。振り返っていかがですか。そして今後の展望をお聞かせください。

今までの10年間は、私たちが寄り道をしてきました。あえて寄り道したから問題点も見えたし、やらなくてはいけないことも明確になりました。2020年の教育改革で文科省が目指すものと、ガウディアのコンセプトとは、致していません。その方向で教材改訂を実施し、更により良い指導法の

追求を行っています。追います。

ガウディアは、すべての子どもたちが対象であり、公立学校に通う子どもたちにももちろん、母体である日能研関東のリソースをいかして中学

受験準備をしたい子どもたちにもマッチしたFC教室です。今まで通り全国でのFC加盟者を増やしつつ、それから、海外ローカル向けの教室の展開も、まずはアジアから取りかかろうと考えているところです。ガウディアは、「子どもが楽しく、保護者が満足し、先生が喜びをもって指導できる」教室を目指していきたいと考えています。



ガウディアの教室。2011年からはスポーツクラブ・メガロスの一角でも学習教室ガウディアを展開。運動もできて勉強もできるワンストップ・サービスを実現している。